

中

一四 受信二〇三〇 譯始二三一五 譯了二三四五 電〇一九四四 作 概

至 急

第六六警備隊

聯合艦隊 戸・第四艦隊 戸

マーシャル方面防備部隊

機密第〇四一六〇三番電



戦闘概報（一月四日）

一 哨戒機及艦艇〇五二五、一三二五、SBD各二機統燃轟 〇七二〇

二 驅逐艦一隻西方海面ヲ行動 一二〇〇北方ニ去ル

三 中型機一機北上

四 戦果、被害ナシ。

通二二一一 呂一三・五三（五二〇〇）四時通 松澤（太田）



戰鬥概報（一月八日）

一、一三五〇F四〇一五機北方ヨリ來襲一四三〇西方ニ擊退ス

二、哨戒機〇四四〇・一二五三BBD各二機

三、戦果ナシ

四、被襲陸軍重傷一警備隊土中式兵舎五全壊

通四五五三 呂一Bヲ三（五一二五C）四通 中村（福田）

一九 受信〇〇一三〇〇 譯了〇四〇〇 電〇四〇〇五 作 概
譯始〇〇二五〇〇

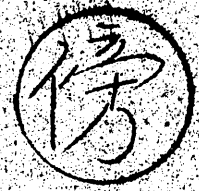
聯合艦隊口・四艦隊口

マールシャル方面防備部隊

機密第〇八一五五三番電

六 六

警



一 一七 受信一九四七 譯了二〇四〇 電〇八一八九 作 概

六 六 警

聯合艦隊 四艦隊

マールシヤル方面防備部隊

機密第一七一四四八番電

P X M 戰國概報 (一月十七日)

六 來襲機一〇二〇 F 四 U 二機 S B D 一九機 (飛行艇一誘導) 北方ヨリ

來襲一〇四二同方面向ニ墜退ス

二 哨戒機〇五四〇・一四一〇各 S B D 二機

三 戦果被害ナシ。

通九二五三 呂一B (五一二五K) 四通 中村 (森) 田

至 一 二 一 急 受信 〇九四〇〇 譯了 一〇四〇 電 〇九八九三 作 概



聯合艦隊 四艦隊

六十六警備隊

マーシャル方面防備部隊

機密第二〇一五五三番電

P X M 戦闘概報 (一月二十日)

一 來襲機 一五七 F 四 X 三機 S B D 一五機 (飛行艇 誘導) 北方ヨ

リ 來襲 一二二六 同方向ニ撃退

二 哨戒機 (艦艇) 〇四三〇、一〇三三 各 S B D 二機 〇五一〇一〇九

五 二驅逐艦 一隻 附近海面行動

三 南下機 中型 一機

四 被害十三耗機 統一破壊

通 一一八一

呂 一 B、三 (一七六) 〇 C (四通)

青木 (田房)

22

一 二二二 開始一三三〇 了 一五一七 電一〇四七八 作一機



聯合艦隊 四艦隊 六六 警備隊
マールシヤル方面防備部隊

機密第二一六〇五番電

P X M 毀開隊報 (一月二十一日)

一 來襲機〇五三〇 B 十二五 一機 P 四〇一二 (飛行艇一隊 來襲)

〇五四 一擊退來襲 擊退方向北 北

二 哨戒機〇四〇五 一三四五各 B B 〇三機 〇七三二中 型一機

三 被害戰死警備隊 五負傷警備隊 一。

一八一一 呂一 B 三 (一七六三〇) (四通 滝邊 (五 島)

功

作

受信〇〇一四五
譯始〇四二五
譯了〇五二〇
電〇五四九五
作 概

東 通 氣 付。四 通 氣 付

六 七 管 備 隊

機密第一〇一四四三番

第四師司令部長官

通報 聯合艦隊司令長官 大本營海軍參謀部第一部長

RYO 戰國報 (十日)

一〇六二〇 PBY 一機〇九一〇 PBY 一機 B-125 一機 P40 二

〇機來襲高角砲臺機庫之ヲ東方ニ擊退

三 戰果不明

三 被害戰死下士官兵五名輕傷下士官兵二名一シリ機銃一基直撃其

他輕微

道六二二〇 呂一B三四(五・二〇〇)四通

小柳(渡瀨)

27



一 受信 一三三〇 譯了二〇四五 電一〇六四 作 概
譯始二〇〇八

六七番備隊

東通氣付・四通氣付

通報表示 聯合艦隊口

機密第一一〇七一〇番電

宛 第四艦隊司令長官

通報 聯合艦隊司令長官 大本營海軍參謀部第一部長

一月中旬敵機動靜

一 RYO 十三日十五日十七日ヲ除キ連日 PBY 一機哨戒十一日ハ

小型機ノ編隊探察アリ(既報)

二 RYD 十三日十五日ヲ除キ連日 PBY 一機哨戒

三 RYO 戦闘機報(十日)

中戦果ニ左記ヲ追加ス(四廿一機撃墜確實)

(東通註 〇ト口通報表示済)

通一一八二二 呂一五ヲ四八一七六三〇(四通) 機阿(機阿)

7

13

一一一 受信〇〇六二六 譯了〇八四五 電〇〇一四二 作 概
開始〇八二五

至 急 八 七 管 備 隊

作

南東方面部隊戰鬥概報着信艦所

機密第〇一〇四四五番電

戰聞概報（十二月三十日十二月三十一日）

三十日一六四五輸送船一隻「シード」二七〇度二〇軒沖兩下ス

大艇一機自一九三〇至二二三〇「タヨフ」島附近ヲ哨戒二二〇五

同島南方ニ吊光投彈ヲ投下爆撃三十一日來襲ナシ戰果被害ナシ

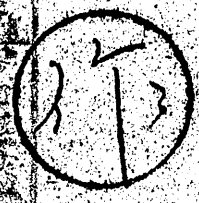
通一二二二 呂ニブラ十一（八九八九〇KC）八通放 田原（上野）

Handwritten mark resembling '42' or '43' in the top right corner.

一 三 譯受 始信 〇〇〇〇〇〇 譯了 〇〇二〇 電 〇〇八四五 作 概

八 九 警 備 隊

● RP 方面防備部隊戰鬥概報着信艦所



機密第〇二二二二八番電

RP 二日 〇五〇〇一〇七〇〇 B-I 二五 P B Y-I 五各一北西進日一二五
一南東進一五〇〇 B-I 二五 一「ソフン」爆撃後旋回偵察南東ニ去
ル一五三〇 R P H 方面ニ對空砲火ラシキモノヲ認ム。

通九六五 呂ニBラ十一(四九四五K)八通 佐藤(岡崎)

印

作

秘

三 受信二二五〇〇
四 譯始〇七二〇〇

譯了〇八三五 電〇一六一六 作 概

八九警備隊

RP方面防備部隊戰鬪概報着信艦所

機密第〇三二二〇八番電

一 RP三日〇五五〇B一 二五 一機南進〇九三〇不明機一機一二一五

二 RP四日機夫北西進一ラトフ一二日〇六〇〇B一 二五 三機北進

三日〇五三八B一 二五 一機偵察RPH同基地機密第〇二一七二〇

番電ノ通リ

二 敵魚雷艇一ラトフに既報ノ通。

通一六六〇 呂二〇三十一一四九四五RC一八通放

服部(山中)

功



機密

七
受信開始〇〇三〇〇
譯了〇二〇〇〇
電〇三〇二六
作概

八 九 警 備 隊

RP方面防備隊戦闘機着信艦所

機密第〇六二一四〇番電

三四五B一二五、一機沿岸一帯銃撃〇七五〇B一二五、一機南進〇

二七B一二五、七機RP假泊地附近爆撃〇九三〇PBY一五P四〇各

北西進一ラトブ二日〇五〇〇B一二五、一機偵察〇八四八B一二五、三

機〇九三八同一三南進三日〇五三五〇六三〇B一二五各一〇八三

同二夫々通過

三二日一八四五一一九一〇敵魚雷艇二隻「ボム」「ウラブツ」「シ」

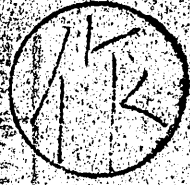
撃一九二〇西方ニ去ル三日〇五五七一〇九〇五同二隻西岸西方約三〇

海上ヲ暗戒ス

三被撃ナシ。

通三四七八 兵二Bラ十一一五三二五RC一八浦 藤代一松井一

功



一 一〇〇 受信〇二五〇 譯了〇七五〇 電〇四五九五 作機
譯始〇四一〇

八九警備隊

● R.P. 方面防備部隊戰鬥概報着信艦所

機密第〇九二二二三番電

R.P. 防備部隊戰鬥概報第一號

一、R.P. 九日〇五三九一 一〇四三 一八二〇一 二〇二二三 哨戒機 P I 三

八各一北西進〇八四五 P 四〇二〇機 P I 二五 五機防空陣地居住

地帯銃爆擊東方ニ擊退其ノ間 P I 二五 一機 P 四〇八機 R.P. 海面

ヲ哨戒一三四五一 一四一五 P I 二五 三機北西進 P 四〇一機南東

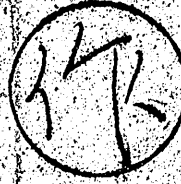
進 P ラト P 七日〇五三〇 P I 二五 一機偵察〇七五〇一〇八二

〇 P I 二五 一機南進八日〇八三〇一 一五三〇 P I 二五 一六

機北西進。戰果ナシ被 害 輕微

● 七日敵魚雷艇二隻西岸哨戒八日出現セズ。

週五一九三 呂二 P ラ十一 (四九四五 RC) 八通放 皇月 (淺岡)



至急

一 受信開始 〇二四〇 譯了 〇三三〇 電 〇五九四二

參作 本紙

第八十九警備隊

RP方面防備部隊戰圖概報着信處所

機密第一二〇九五二番電

一 RP 十二日 〇五〇〇一〇八〇〇B二五・P 〇〇一五各一東進輸送機

一北西進 〇九一〇B二五 七機「ナマロス」岬附近低空銃爆撃

〇九五〇一三三五P R Y I 五輸送機各一西進 B 二四 一機東進

二 大發三隻十一日一八三四「マトツブ」沖ニ於テ敵魚雷艇ト約十分間

交戦後「マトツブ」ニ避泊

三 被害 農園若干

四 本日敵ハ時限爆彈ヲ混用一三〇五・一六二〇・一八三〇夫々爆發

通六七四〇 呂一Bラ十一 (四九四五KC) 八放 日野原(小川)

(七)

作

譯始〇〇〇三〇 譯了〇〇〇三九 電〇六四一五 作 櫛

八 九 警 備 隊

● R P 方面防備部隊戰國概報着信處所

機密第一三二一五番電

R P 防備部隊戰國概報第二號

一 R P 十三日〇九四五時發機一機東進一四五〇日二五 六機主トシ

ヲ R P 河沿岸居留地帯低空機爆撃東方ニ擊退 戰果ナシ 被害陸

軍兵戰死一員傷四

二 B 二五ハ本日ニ時限爆彈ヲ混用投下一五二〇一七二五 五發炸

裂

三 R P H 同基地機密第一三〇七一五番電ノ通

通七二四二 呂二五ヲ十一ハ四九四五 KC 二八通放

吉田 (増田)

24

一七六 受信三二三四
一七六 譯始〇〇一五

譯了〇一〇〇 電〇七八五八 作 概

八 九 警

● R P 方面戰國極報着信艦所

● 機密第一六二〇四五番電

一、R P 十六日〇五二〇B 二五 一機偵察〇五 一四三〇輸送

機二機北西進B 二五 一機輸送機二機南東進「ラトブ」〇五〇一

五B 二五 二機南進

二十六日〇五二〇B 二五 一「カリリ」就爆墜ニP 同基地機密

第一五一八〇〇發電ノ通

三、最近敵魚雷艇ノ主哨戒ハ「ヨイク」島「フル」崎間ニ指向シア

ルモノノ如シ。

通八八五一 呂二Bラ十一(四九四五K)八通 原(雨谷)

7

作

「一二二 受信二二二一四 譯了〇〇〇〇 電一〇六七九 作 概
一二三

八 九 警 備 隊

● B P 方面防備部隊戰報概報着信艦所

「通報表示」聯合艦隊口

機密第二二二二二〇〇番電

R P 防備部隊戰報概報 第二號

二十一日〇五三〇B二五 一ラトブ偵察二十二日一〇一〇B二五 七
「ナフト」岬小岬間海岸陣地帯ヲ銃爆撃東方ニ擊退戰果被害ナシ。

通一二一四五 呂二Bラ十一 (四九四五K) 八通放 杉原(上野)

作

一 二四 受信二二二五〇〇 譯了二三五五 電二一六七八 作 概

● R P 方面防備部隊戰鬥概報着信監所

● 八 九 警 備 隊

機密第二四二〇二八番電

R P 防備部隊戰鬥概報三號

一 R P 二十四日〇四五〇・二五 五偵察〇六一〇・二五 四防空陣
 地及 R P 橋ヲ低空銃爆撃東方ニ擊退〇六三〇 P 四 H 一〇 P B Y I
 五 一南東進「ラトフ」二十一日一二五五 B 二五 四「ボム」銃
 爆撃二十四日〇五五五・二五 四 〇六〇五 P 四 H 四夫・機橋附
 近銃爆撃
 二戰果被害ナシ。

通二三二二二七 呂ニヨラ十一(四九四五)八通放

松原(波田)

20

一
二七六 受信
如〇一二三八

壽了〇二二〇 〇一三五九六 作

標

第九警



● R P 方面防備部隊戰術概報着信處所

機密第二六二〇一八番電

R P 二五五〇八一五 B 一 二五。二五 S E D 一四南西進二六日〇五二〇

B 一 二五 偵察〇九五〇 B 一 二五 八 R P 橋附近爆撃タトマ二十五日

一〇五五 B 一 二五 偵察被撃

浦一四二五二 四二 B 一 一 (四九四五 K) 八通 竹茂 (福 田)

7

574

一三〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇
開始 二二五三
〇〇〇一
一〇〇四〇
二四四九八
作 概

● 八 九 〇

● R P 方面防備部隊編成報告書

● 第三〇二〇四八番

R P 防 隊編成報告第三號

一、R P 三〇日〇六二〇 B-125 一東方ヨリ來襲北西ニ退却

二、R P H 同基地機密第三〇一〇四五番

三、眼果 被撃ナシ。

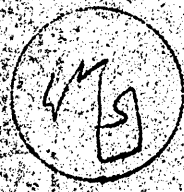
通一六四〇一 呂二Bノ十二 四九四五 K (八浦波 東野ノ小野田)



中

至
急

一四三受信
始
〇五〇五
譯丁一〇〇〇
電〇一五九七
概



南東方面部隊戰況概報着信總所

秘電集〇三一五三五番電

RX方面防備部隊戰況概報第三九九號(一月二日)

一月來要機ナシ

二月RXF〇五三〇F四U二機〇六一五ト一三八 一機偵察 〇六三

〇F四U二機陸軍地帯ニ三〇〇F四U二機「モイラ」機機RXE〇

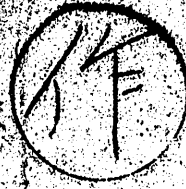
七一五F四U二機「コマレ」機一二四〇F四U二機「ボボラング」島

〇F四U二機一六〇〇何レモ銃撃 戦果 被害ナシ

三一日〇四二〇魚雷艇五隻二日一四〇〇魚雷艇四隻 三日〇八〇〇魚雷

艇二隻何レモRXE東ヲ〇〇〇へ一四一〇魚雷艇四隻〇〇〇ヲ東航。

一月九二 呂二七ラホー(九八九〇)八八〇 小野田



至急

一 一三 受稿二一三三〇 譯了二三三〇 電〇六五四四 作
開始二二四〇

● 南東方面部隊戰鬪概報着信處所

機密第一三一七一六番電

發 R X O 警備隊戰鬪概報第六號 (十二日十三日)

十二日〇六三〇「クヌア」附近ニ敵潛伏シアルヲ諜知セシヲ以テ

索敵中密林内ニ十數名ノ土人軍 (半數武器携行) ト遭遇之ヲ擊退

戰果遺棄死体三被害ナン〇六五〇戰鬪機二「ツンダ」灣方面銃撃

〇七〇〇「〇七一〇 P I 三八」機「フカ」海峽上空偵察「一五一

戰鬪機二機「アイバ」方面銃撃何レモ被害ナシ

十三日敵機ノ來襲ナシ

通七二一九 呂一日ラ十一 (四九四五機) 八通放送 高田 (機 澤)

1926

作義子報
綴

昭和二十二年一月分

七一四 受信〇一〇六 譯了〇八四五 電〇六七二二
譯始〇八〇〇 〇六七二三 護 潛

● 六二作戰部隊

● 六二作戰關係着信機所

● 機密第一三一三三五番電 二分ノ六二

● 六二作戰開始以來各隊艦ノ敵國ニ依今日迄敵潛ノ津輕海峡突破企圖ヲ
完全封鎖シヨク左ノ戦果ヲ收メタリ

○ 一八日一〇四二海六五八号矢ノ一七〇度九望ニ於テ敵潛ヲ撃沈セリ

ニ八日〇七二七号矢ノ一七二度四望ニ於テ海上ノ攻撃ニ引繼キ官丸ヲ

誘導攻撃シタル敵潛ニ對シテハ效果検討中

三七日一四四〇以後号矢ノ一四二度七望ニ於テ飛行機隊攻撃ニ引續キ特

七二ヲ誘導攻撃シタル敵潛ニ對シテハ相償ノ損害ヲ與ヘタルモノト認

一八日、七七〇〇(天二〇六十三)(B)六三(半) 1

1928

△各隊一兩日ノ戦果ニ安ンズルコトナク益戰意ヲ旺盛ニシ津輕東方海面出現敵潛ハ悉ク之ヲ海底ニ葬ムリ去ランコトヲ期スベシ。

至八 急 一 二 受信 〇〇九五三 〇 譯了 〇九三〇 電 〇六四六八 作 概

作

● 對馬海峽方面部隊

● 大海參一部・佐鎮尸・計四六

機密第一一二三四四番

● 七 艦 隊 尸

海一九四海一九八及艦潛一九八仁位潛在泊中十日離B一二九 六機

ノ反覆空襲ニ對シ機裝並ニ地形ノ利用ニ努メ攻撃威力ヲ發揮シテ其
ノ三機ヲ擊墜（内二機確實）一機ヲ擊破シタルハ大ニ可ナリ。

通七五七二 天二B夕十國（八三九〇EC）佐通 片山（後阿）

六一二

受信二一〇五五
譯始二一四五一

譯了二二二二五

電〇六〇五五

功潛作
績艦艦〇

共

符



- 各港灣警備隊、大警航空部隊
- 海上護衛總部隊指揮官、大警部隊

機密第一二一四五五番

發 大警司令長官

津輕海峽東口附近ニ跳梁セル敵潛ニ對シ各部隊協同堅忍遂ニ第一九

六號海防艦ノ見事ナル攻撃ニ依リ東南方ニ於テ其ノ一隻ヲ沈セ

ハ可ナリ各部隊ハ一層對潛兵器ノ活用ニ努メ更ニ積極果敢ナル攻撃

ヲ實施シ戰果ヲ擴大スベシ

通六六七九

天二Bケ十二(四〇七五KG) 大連 咲花 (阿部)

1931



緊急

五二三 受信〇四二五
開始〇五三一

了〇六四五 電一一二二四

作
本機

三二 通 信 隊

一 南 遣 艦 隊 戸

大海軍一部

聯合艦隊口・南西方面口・高口・台北在勤武官・二三根

秘密第二二一五〇七番電 二分ノ一二

三三警備部隊編成報第三一號(二十一頁)其ノ一戰訓所見

五月八日戰國開始以來海軍將兵ノ敢闘精神極メテ旺盛ニシテ陣地

死守ノ信念ニ徹シ當地方戰列ニ見ルガ如キ許可ヲクシテ陣地ヲ撤

スルモノ皆無特ニ學徒出身ノ預備士官ハ編成一線中隊長及小隊

長ノ配置ニテテ勇戰奮闘帝國海軍ノ傳統ト名譽ヲ遺憾ナク發揮

勇敢ナル行爲ハ枚擧ニ遺アラズ

通一一四三三 呂一ロラ一八(七八五五)三二通 東 清水(小)

二 戦國中台湾軍人軍艦ノ行動ニ關シテ從來兇角ノ風評アリシモ「ダバ
 オ」ニ關スル限り戦國中ト雖モ統制アル指揮ノ下ニ奮烈ナル砲臺墜下
 前ハ陣地作業或ハ後方連絡ニ従事シアリテ克ク台湾青年ノ名譽ヲ發
 揮シアリ

台湾志願兵大部分成績優良

三 道路橋梁ノ破壞ハ事前ニ充分研究スルト共ニ戰國ノ經過ヲ以テ餘裕
 ナリテ實施セザレバ徹底ヲ期スルコト困難ナリ實施ニ當リテハ後メ
 破壊隊ハ設營隊ヲ以テ統制シテ以テスルヲ可トス今次敵「コタバト」
 上陸以來一旬ヲ經シテ「ダバオ」ニ突入セシメタル主ナル原因ハ陸
 軍部隊ノ道路橋梁破壊不充分ナリシニ依ルモノト認ム

1933

五一九

受信一六一二
始一八四五

譯一九五五

電自〇〇九七二二
至〇九七二二

參作
本機



二二根戰團機報着信所

第二管備隊

機密第一九一〇一六番電

四分ノ六三四

主陣地背面ニ邀撃シ急熾烈ナル砲爆響下臺ヲ屈スルコトナク孤立セル
 大隊砲ヲ救出シ或ハ隨時敵ニ多大ノ出血ヲ強要シ大ニ勇戰敢闘中ナリ
 シガ就中五月十二日十三日兩日ノ戰闘ニ於テハ當面ノ敵約一ケ中隊ト
 寸土ヲ戰フ白兵戰闘ノ後之ヲ完全殲滅シ以テ戰車一自動小銃五挺小銃
 四〇挺其ノ他手榴彈彈藥多數ヲ鹵獲スルノ戰果ヲ得タリ其ノ間通信機
 絶セルニモ拘ラズ良ク指揮官ノ意圖ヲ明察シ周到ナル準備ノ後中隊ノ
 退却ヲ遮斷シ東北ニ侵入セル敵ニ打撃ヲ與ヘツツ正正ト主力陣地ヲ轉
 進セリ也 (電信機註 本電四分ノ一未着)

通 通 通
 一〇〇七〇〇
 一〇〇七〇〇
 一〇〇七〇〇

天二ヨケ六(一八三六七五)KC(二)通

永森奧山
井井山
(杉本)

功機

六三 受信之一。八 譯了。三五。電。一七六七 作機。
四 譯始。一一。 航本

敬備隊

作

着

二二根 敬備隊 着信 繼所

機密第〇三一六一番電 二分ノ二

敵 警戒 至 嚴ニシテ 決行スルヲ 得ズヤムナク 同地ニ 潜

伏好機ノ 至ルヲ 待ツトシ 六月三日 黎明カニ ノコトニ 此ヲ 利用シ 西岸ニ 迫砲彈ヲ 利用スルノ 應急爆藥ヲ 以テ 迫撃

砲一門ヲ 確實ニ 爆碎セリ。
通信課 本電ニ 分ク 一未着。
通一七。三 天ニ Bヶ六 (六一三三 五七) 二十一 通

高原(川崎)

1935

功

二六四 受信一〇四〇三 譯丁一四二五 電自一三六四三〇 侍作

概

大臣

威司令部・十方面艦隊

第二南遣艦隊

二南遣艦隊各P・サボン、昭南各陸軍

二三一—一四四九

四分ノ三、四

タラカン島戦國概報

タラカン守備部隊（指揮官海軍中佐香春博以下海軍軍人六二四軍屬五四五

兵補約一五〇陸軍二個大隊ノ外ニ邦人一四五）ハ既報ノ如ク四月二十七

敵來攻以來募兵ヨク敵對抗シテ勇戦敢闘シ大ナル戦果ヲ擧ゲタリ六月十一

日通信施設移動ノ爲十五日別電迄連絡ヲ中止ス一ヲ發電以後通信連絡杜絶

モシガ其ノ後モ引續キ全員特 奮戦多大ノ出血ヲ強ヒ最後迄日本武人ノ面

目ヲ發揮セシトハ敵ノ報道ニ徹スルモ明ラカニコレヲ窺ヒ得ル所ナリ然

三三八七・三三八八
三八六九・三三八〇

協 作（六一三三三三）二一通 小林・田中（酒巻） 1

2kg? 375

レドモ當時ノ戰鬪狀況六月十九日ノ敵報道「タラカン島中央部ニ於ケル
 殘存敵拠點ニテ破敵死屍果計一〇二八件虜ニ五名」及二十九日ニ至リ
 敵病院機ノ行動モ終リタル點（通信諜報）等ニヨリ判斷スルニ遺憾ナガ
 ラ六月下旬組織的戰鬪ハ終了セルモノト認メラル。尙現地部隊報告ニ依
 ル綜合戰果（六月十日迄）左ノ通
 擧沈掃海艇五、人員殺傷二四三七（海上ヲ含マズ）、破壊及凶機戰車一
 自動貨車二〇、重機銃一一、輕機銃一九、自動小銃四六、迫撃砲三、彈
 藥多數、爆破物資集積所二〇、幕舎四四。

東通註

本電問合セノ爲遲延

傍

八八信二二四五 譯了二三一〇 電〇四九〇〇 作概

音

沖根 P

先

終通

備號

機密第〇八一八〇七番電 三分二

久米島

機密第〇六一四三〇番電作成

新込隊編成ニ三〇高月、敵重火器陣地ニ突入敵ニ多大ノ

損害ヲ與ヘタルモ全員壯烈ニ戦死ス

三、後部隊ニ四〇〇アア部落北方高地ニ移動三、日未明迄

對峙更ニ同部落東北方高地ニ主力ハ陣地構築末四月五日

ヨリ山母夜下士官ヲ長ズル新込隊編成敵陣地ニ兵舎三

軒込多大ノ損害ヲ與ヘタルアア四月十二日艦砲射撃

通四五七四 於一六(九六一〇)八八(終)終通

山平(官)

(1)

掩護下敵、攻果ニ、中隊以上十九名之ニ多大ノ損害ヲ與ヘ
 果退セルモ我亦多數ノ戦死傷者ヲ出シ部隊長梅澤トシ
 (右足戦傷)以下約一〇〇名トナレリ
 四爾後各所ニ斬入テ續行ノ儀也ト沖繩島ニ連絡員ヲ派

(電信課註 本電 三分一ニ未着)

(2)

功

四一九
至魚

受信開始
〇〇三五八
〇五二〇〇

了〇五五五

電自
一一〇五二二
一一〇五二二
一一〇五二二

作訓



東京通信隊・西方部隊

機密第一八二二三二番電

三分ノ一二三三

發 初鷹艦長

通報 〇五日對潛學校 一日對潛訓練班 大海參一部

戰 速報

初鷹へA船ヲ護衛中四月十六日〇四〇五(月)シ視界稍不良使用速力

一二節(北緯六度五二分東經一〇二度五〇分)浮上潜水艦ト會敵セリ(

距離約四〇〇〇)九三式水中聽音機ニ依リ再初ニ其ノ音響ヲ聽取次テ

機橋見張ニ依リ發見ス

右ハ十三日一六三〇昭南出港直前入艇機ノ代理トシテ乘艦セル一南遣

通 一一八八七六

一一八八七六

天ニヨケ六(六二三五)十通 神山(松山) (一)



降隊對稱指導班皆兵曹長ノ熱心道切ナル指導ニ依リ聽音器技術
 逐次日ニ著シク向上セル爲メシテ前記トシ長ハ當直勤務ニ服スル
 ことナク専ラ水測室ニ在リテ具體的ニ渡邊器ノ使用等整測哨戒敷
 置ニ關シ指導ナリ從來本職ニ於テハ聽音機ノ精修ニ關シ輕視シ指
 導ニ於テ放任ノ觀アリタルニ指導ニヨリ現用聽音機ハ極メテ有效
 ニ使用スルヲ得ルト認ム。

1941

軍極秘

第十一潜水機密第一號之三

自昭和十九年二月一日
至昭和十九年二月十九日

第十一潜水艦基地隊戰時日誌

第十一潜水艦基地隊

19.4.21
接受